

Phonak Target 6.2

TargetMatch フィッティングガイド

TargetMatch は、フォナックが Otometrics と共同開発した製品で、Otometrics 社製 AURICAL ハードウェアおよびソフトウェアを使用した補聴器のフィッティングと微調整を統合したシステムです。フィッティングソフトウェア Phonak Target で利用可能であり、効率的に補聴器のフィッティングおよび確認することができます。

TargetMatch は、プローブ チューブの適切な配置手順を示し、実耳と 2cc/検査箱の測定や、自動または手動による目標の一致を実行します。フォナックの補聴器のプログラミングとフィッティングの追加の詳細については、デスクトップ フィッティングガイドを参照してください。

フォナック補聴器のプログラミングとフィッティングに関する詳細は、Phonak Target フィッティングガイドを参照してください。

要件

Phonak Targetのバージョン	Phonak Target 6.1以上
NOAHのバージョン	Noah 4.4 (2280) 以上
Otometrics社 OtosuiteのVer.	Otosuite 4.83.00 以上
機器	Otometrics社 AURICAL フリーフィットおよびAURICAL HITの検査箱

Otometrics 社製 AURICAL の詳細については、www.otometrics.com/aurical をご覧ください。

1. 補聴器との接続

メイン画面上端の中央に配置されているドロップダウンメニューから、補聴器のプログラミングに使用するフィッティング機器に[NOAHlink]、[iCube II]、[HI-PRO]、[NoahlinkWireless]のいずれかを選択します。

TargetMatch には iCube II を使用することをお勧めします。

ワイヤレスフィッティング機器を使用する場合は、補聴器に新しい電池を使用してください。[接続]をクリックして、補聴器との接続を確立します。



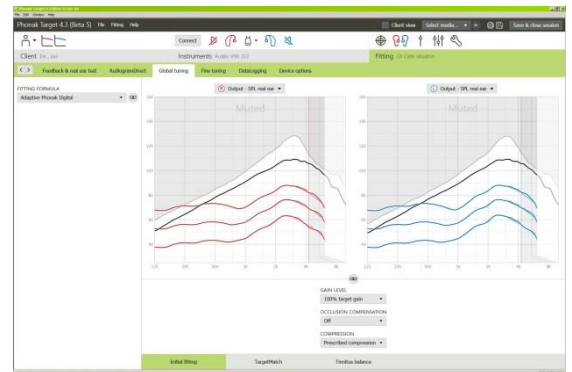
補聴器に接続できたら、[音響パラメータ]画面が自動的にポップアップ表示されます。

注: カプラオプションを確認し、必要に応じて変更して、適切なフィッティングパラメータが適用されるようにしてください。

2. フィッティング処方

[基本調整]画面で、希望するフィッティング処方を選択できます。この選択に基づいて、TargetMatch によって適切なパラメータと実耳目標が適用されます。

本調整には、[フィッティング]>[基本調整]からアクセスできます。

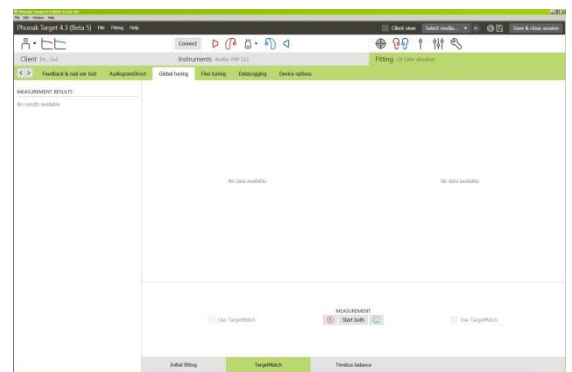


3. TargetMatch

TargetMatch には、[基本調整]>[TargetMatch]からアクセスできます。

[右]、[両耳で開始]、[左]のいずれかをクリックして、TargetMatch を開始します。その後は、アシスタントの指示に従って一連の手順を行います。

TargetMatch でテストをするには、[ハウリングと実耳テスト]をあらかじめ実行する必要があります。



4. 準備 - 測定方法の選択

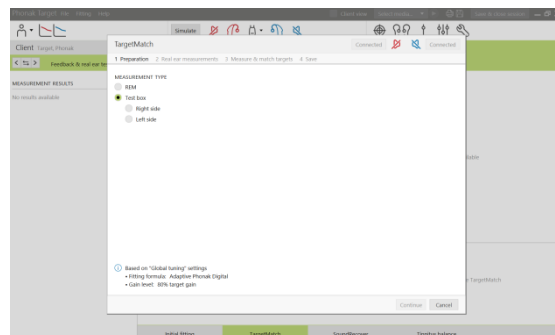
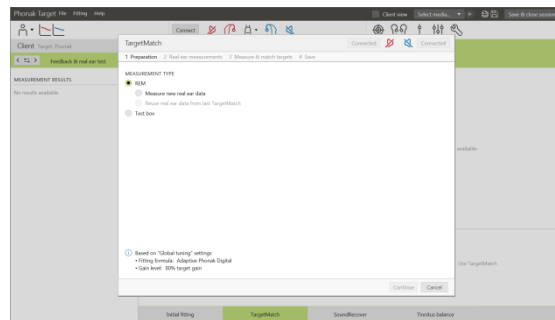
[REM]または[検査箱]のどちらで測定するか選択してください。

REM の測定の場合、

- **[新しい実耳データを測定]**を選択します。画面に表示される手順に従って、プローブ チューブの校正、プローブ チューブの挿入、REUG、REOG、RECD 測定、マイクロホンチェック/MLE を実行します。

2cc/検査箱の測定の場合、

- **[検査箱]**を選択し、2cc/検査箱で直接、測定と目標との合致を実行します。フィッティングセッションで利用可能な、過去に測定された RECD または年齢に応じた平均値の RECD が適用されます。(セクション8 測定と目標に一致を参照してください。) 2cc/検査箱での検査を直接続けます。

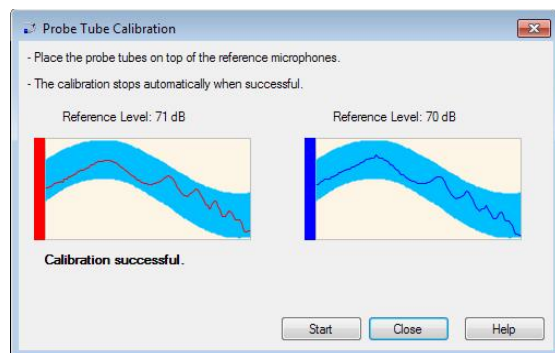


5. 準備 - プローブチューブの校正

指示に従ってプローブチューブを校正します。

注: 校正曲線が図に示すように滑らかではなくギザギザしている場合は、プローブチューブがその他の物体に触れていないことを確認してから、校正を繰り返してください。

[閉じる]をクリックして、先に進みます。



6. プローブチューブの挿入場所と REUG 測定

プローブチューブの挿入場所のガイドは、正しい深さまでプローブチューブを挿入するためのサポートを行う機能です。10歳以上の装用者が対象となります。

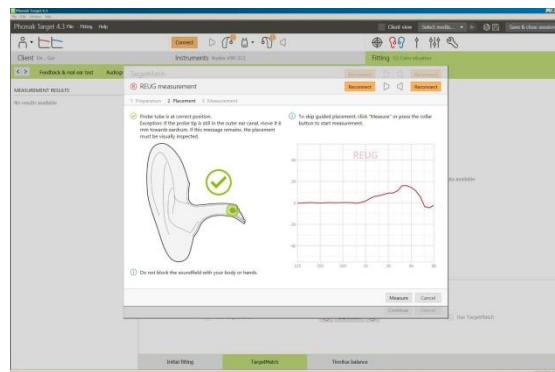
[右開始]または[左開始]をクリックして、プローブチューブの設置位置の案内を使用した REUG 測定に入ります。

プローブチューブを配置したら、[開始]をクリックするか、AURICAL フリーフィットの[Power Button]を押して、プローブチューブの挿入の案内を開始します。

プローブチューブを鼓膜に向けて注意深く動かします。値はミリメートル単位で表示され、Otometrics 社が提供するプローブチューブ上の縮尺と一致します。

緑色のチェックマークは、プローブチューブが正しい位置にあることを示します。

[測定]をクリックするか、AURICAL フリーフィットの[Power Button]を押して、REUG 測定を開始します。

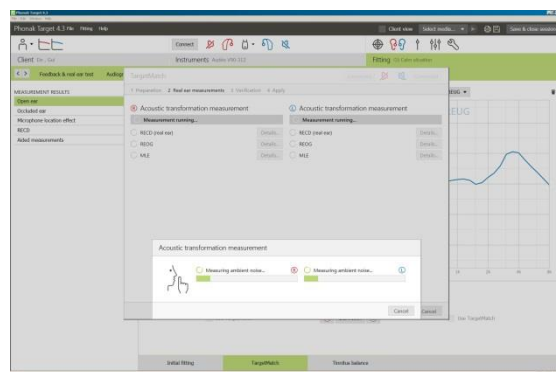


7. 実耳測定：RECD、REOG、およびマイクロホンチェック/MLE

補聴器を装用者の耳に挿入し、**[再接続]**を選択して補聴器の再接続を行います。

注： 補聴器を挿入している間、プローブチューブの位置が変わらないようにしてください。

[測定を開始]をクリックすると、自動的に RECD、REOG の測定とマイクロホンチェック/MLE が行われます。



8. 測定と目標に一致

検査中にアクティブにするプログラムと、検査の実行方法を選択します。

[オートマチック 適合]を選択すると、自動的に音響情報(REUG、REOG、RECD)の適用、特性の測定、補聴器の出力の目標への適合が実行されます。

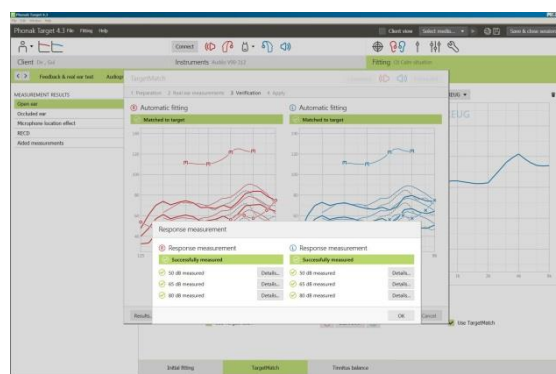
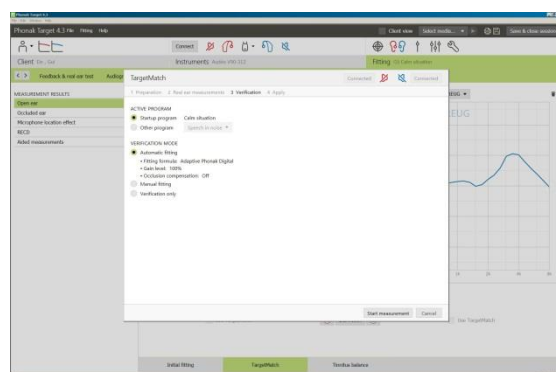
(オプション)

- **[マニュアル 適合]**を選択し、手動で補聴器の特性を目標に適合させます。
- **[特性の測定のみ]**を選択し、補聴器の特性のみを測定します。

注:2cc/検査箱の測定では、検査室内に補聴器を配置するように注意してください。

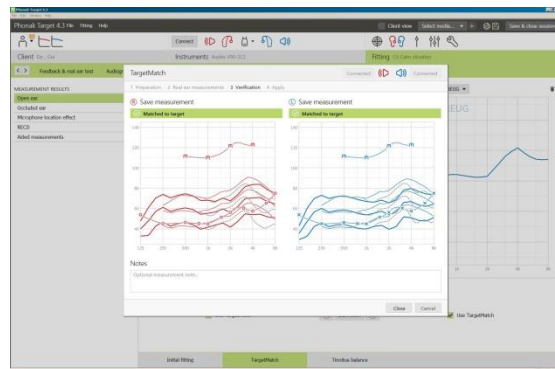
[測定を開始]をクリックして、オートマチックフィッティングを開始します。

TargetMatch により、自動的に音響変換が適用され、特性測定が実行され、選択した目標に一致するように調整が行われます。



9. TargetMatch のフィッティング

[保存]をクリックして、変更内容をフィッティングに適用し、すべての測定を Noah に保存します。Otometrics 社 Otosuite と Phonak Target のいずれからでも、結果を後から確認できます。



10. 記号の情報と説明およびシステム要件

記号の情報と説明およびシステム要件の概要は Phonak Target フィッティングガイドで確認できます。

CE マークには、2020 年に申請しました。



メーカー:
Sonova AG
Laubisrütistrasse 28
CH-8712 Staefa
Switzerland